

国際日本学シンポジウム

〈日本意識〉の

過去・現在・未来

グローバル化の荒波の中で日本は揺らいでいます。日本の世界における経済的地位はもとより、政治的・文化的地位にも陰りが見られます。その陰りは、直面する問題の大きさからと同時に、問題に立ち向かう際に依拠すべきセルフ・イメージの喪失から来ていると言えるでしょう。『ジャパニズム・ナンバーワン』に代わって、自らを導く、別の〈日本意識〉の形成が急がれます。その〈日本意識〉は、すべてが国境を飛び出すグローバルな環境下で、閉じたナショナルなものとの再興ではありえません。本シンポジウムでは、〈儒教〉・〈漢字〉・〈米・稲作〉という3つの伝統をあえてテーマに据えて、国際的であり学際的である国際日本学の方法を駆使しつつ、グローバル化の中でのあるべき新たな〈日本意識〉の像を探ります。



儒教



漢字



米・稲作



2014年 7月26日(土)

9:50 ~ 18:40 法政大学市ヶ谷キャンパス
 ボアソナード・タワー 26階スカイホール

- 主催 法政大学国際日本学研究所
- 総司会 安孫子 信 (法政大学国際日本学研究所所員、文学部教授)

下記のURLの申込専用フォームからお申込ください。

PC <https://www.event-u.jp/fm/10388.html>

携帯 <https://www.event-u.jp/fm/m10388.html>



お問い合わせ先

法政大学国際日本学研究所

TEL: 03-3264-9682 FAX: 03-3264-9884 E-mail: nihon@hosei.ac.jp